

よいところを見つけるために、書道家の武田双雲さんの言葉を紹介します。私は、みなさんが【こんな気持ちをもってくれたらうれしいな】と思っています。それは…

“粗さがしメガネ”ではなく“感謝メガネ”をかけよう です。

どういうことかという、人と話をしたり、一緒に活動したりするときに、粗（あら）さがしをしようとする気持ち（人のよくないところや失敗したことをわざわざさがし出そうとする気持ち）でいるのではなく、感謝の気持ち（ありがたいと思う気持ち、お礼の気持ち）をもっておきましょうということです。

『ありがとう』と『当たり前』

感謝を表す言葉「ありがとう」。みなさんは「ありがとう」の成り立ち・意味を知っていますか？「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」…「有難い（ありがたい）」からきています。「有難い」の意味は「**有ることが難しい＝めったにないこと**」です。したがって「ありがとう」は、めったにないことにめぐり合う…例えば誰かが自分のために何かをしてくれたり、すてきな光景を見たりした時の感謝を表す言葉となったそうです。

次に「ありがとう」の反対の言葉を知っていますか？それは「**当たり前**」です。自分に起こるできごとがすべて「**当たり前**」だと考える人は**しあわせな気持ちになれない**と心理学でも明らかになっています。「周りの人が自分のために動くのは当たり前」「優しい言葉を自分がかげられるのは当たり前」もっと言うと「電気のある生活は当たり前」「風呂に入れて当たり前」「食事をとることができて当たり前」「当たり前」「当たり前」…**何でも「当たり前」だと思つと、そこに感動や幸福感はありません。**

私も含め、普段の生活の「当たり前」と思っていることを「**感謝メガネ**」を通して見てみましょう。今までとは違う感動を得られるかもしれません。

学校情報化優良校に認定されました

玉小学校では、【**学校情報化優良校になる**】ということに昨年度から取り組んできました。昨年度は、「あと一步」というところまでいきましたが認めてもらえませんでした。🙇‍♀️しかし今年度は、昨年度後半から今年度にかけての取組の積み重ねで見事、認定されました。🙌そもそもあまり聞いたことがない【**学校情報化優良校**】とはどんなものかということ…



日本教育工学協会(JAET)は、教育の情報化の推進を支援するために、学校情報化診断システムを活用して、情報化の状況を自己評価し、総合的に情報化を進めた学校(小学校、中学校、高等学校)を認定する 学校情報化認定に2014年度から取り組んでいます。

「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を称え、学校情報化優良校として認定します。

日本教育工学協会(JAET)ホームページより

今年5月には、日本全国で優良校が3000校(小・中・高合わせて)を突破したそうです。

玉小学校でも、みなさんが使っているクロムブックを学年に応じて効果的に活用し、学習内容の定着を図っていきたいと思います。

保護者の皆様へ(お礼が遅くなり申し訳ありません)

10月3日(木)の参観日・学級懇談(5年生は海事研修説明会を含め)では、大変お世話になりました。当日、私は、あいにく出張と重なり、残念ながら子ども達の様子を見たり、皆様とお話をしたり、聴いたりすることはできませんでしたが、担任等から当日の様子は聞き、共有しています。今後とも、教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。